

平成 29 年 11 月 26 日 (日) 施行

## 第 188 回 全経簿記能力検定試験 1 級 商業簿記・会計学 解説

## 第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 三
2. 企業会計原則注解 [注 2] 資本取引と損益取引との区別について(1)

## 第 2 問

1. 銀行勘定調整

(1)未取付小切手

仕訳なし

(2)未渡小切手

(借) 当座預金	84,000	(貸) 未払金	84,000
----------	--------	---------	--------

(3)連絡未通知

(借) 当座預金	84,000	(貸) 売掛金	84,000
----------	--------	---------	--------

2. 保管時

(借) 受託販売	12,500	(貸) 現金等	12,500
----------	--------	---------	--------

売上時

(借) 売掛金等	650,000	(貸) 受託販売	650,000
----------	---------	----------	---------

受取手数料の計上と送金

(借) 受託販売	637,500	(貸) 当座預金	592,000
		受取手数料	45,500

3.  $¥158,000 \times 12 \text{ 枚} = ¥1,896,000$

 備品の購入価額は  $¥1,800,000$  より  $¥96,000$  が利息分となる。

4. 車両の買換えは(1)旧車両の売却と(2)新車両の購入に分けて考える。

 (1)  $¥900,000$  で旧車両を売却

車両減価償却累計額

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

 $¥2,500,000 \times 0.2 = ¥500,000$ 

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

 $(¥2,500,000 - ¥500,000) \times 0.2 = ¥400,000$ 

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

 $(¥2,500,000 - ¥500,000 - ¥400,000) \times 0.2 = ¥320,000$ 
 $① + ② + ③ = ¥1,220,000$ 

(借) 車両減価償却累計額	1,220,000	(貸) 車両	2,500,000
未収金	900,000		
車両売却損	380,000		

(2)新車両の購入…未収金を購入代金に充当

(借) 備品	3,000,000	(貸) 未収金	900,000
		未払金	2,100,000

以上(1)+(2)が買換えの仕訳となる。

5. 会社法の規定では繰越利益剰余金の配当時に、資本準備金と利益準備金の合計額が、資本金の4分の1に達するまで、社外への支出額の10分の1を利益準備金として積み立てなければならない。

資本準備金と利益準備金の合計額： $¥4,000,000 + ¥700,000 = ¥4,700,000$

資本金の4分の1： $¥20,000,000 / 4 = ¥5,000,000$

①配当金の10分の1  $¥5,000,000 \times (1/10) = ¥500,000$

②要積立額  $¥5,000,000 - ¥4,700,000 = ¥300,000$

③利益準備金の積立額 ①>② → ② $¥300,000$

6. 買掛金は前期決算日の為替レート（ $\$1 = ¥113$ ）で換算しているので、

$\$34,000 \times ¥113 = ¥3,842,000$

支払いは本日のレート（ $\$1 = ¥115$ ）で、 $\$34,000 \times ¥115 = ¥3,910,000$

為替差損 $¥3,910,000 - ¥3,842,000 = ¥68,000$

### 第3問

貸借対照表と損益計算書は以下のとおり（単位：千円）

貸借対照表

流動資産	209,000	流動負債	123,000
		固定負債	98,000
固定資産	171,000	純資産	159,000
資産合計	380,000	負債・純資産合計	380,000

流動資産：資産合計額－固定資産合計額＝ $380,000$ 千円－ $171,000$ 千円＝ $209,000$ 千円

純資産：負債・純資産合計－（流動負債＋固定負債）

＝ $380,000$ 千円－（ $123,000$ 千円＋ $98,000$ 千円）＝ $159,000$ 千円

損益計算書

売上高	565,000
売上原価	377,000
売上総利益	188,000
販管費	140,000
営業利益	48,000
営業外損益	1,500
経常利益	49,500
特別損益	(△)19,000
税引前当期純利益	30,500
法人税等	18,000
当期純利益	12,500

$$\text{ROA} = \frac{\text{経常利益}}{\text{総資産}} \times 100 = \frac{49,500}{380,000} \times 100 = 13.02\cdots \rightarrow 13.0\%$$

$$\text{ROE} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} \times 100 = \frac{12,500}{159,000} \times 100 = 7.86\cdots \rightarrow 7.9\%$$

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = \frac{209,000}{123,000} \times 100 = 169.91\cdots \rightarrow 169.1\%$$

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 = \frac{159,000}{380,000} \times 100 = 41.84\cdots \rightarrow 41.8\%$$

#### 第4問

土地の評価替え

(借) 評価差額	6,000	(貸) 諸資産	6,000
----------	-------	---------	-------

連結修正仕訳

(借) 資本金	50,000	(貸) 利益剰余金	23,000
資本剰余金	13,000	評価差額	6,000
のれん	7,800	子会社株式	35,000
		非支配株主持分	6,800

非支配株主持分：(50,000千円 + 13,000千円 + (△)23,000千円 + (△)6,000千円) × 20%  
 = 6,800千円

のれん：貸借差額

#### 第5問

[資料2] 検討事項

1. 見渡小切手と配当金領収証の処理

(借) 当座預金	200	(貸) 未払金	200
(借) 現金	130	(貸) 受取配当金	130

2. 仮払金の処理

(借) 仮払法人税等	15,300	(貸) 仮払金	35,400
仮払消費税	17,600		
退職給付引当金	2,500		

3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	31,800	(貸) 前受金	200
		仮受消費税	21,600
		資本金	5,000
		資本準備金	5,000

#### 4. 消費税

(借) 仮受消費税	21,600	(貸) 仮払消費税	17,600
		未払消費税	4,000

5. 売上割引は売上勘定から控除するのではなく、売上割引勘定（営業外費用）で処理する。

(借) 売上割引	800	(貸) 売上	800
----------	-----	--------	-----

#### 〔資料3〕決算整理事項

1. 受取手形+売掛金の期末残高は 30,000 千円+65,700 千円=95,700 千円

貸倒引当金は 95,700 千円×3.0%=2,871 千円

残高試算表の貸倒引当金残高は 2,700 千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	171	(貸) 貸倒引当金	171
-------------	-----	-----------	-----

2. 有価証券の評価替え

広島会社株式 (2.10 千円-2.30 千円) × 3,000 株 = △600 千円

島根会社株式 (1.50 千円-1.40 千円) × 2,000 株 = 200 千円

(借) 有価証券評価損	400	(貸) 有価証券	400
-------------	-----	----------	-----

山口会社株式 (5.80 千円-5.45 千円) × 1,500 株 = 525 千円

(借) 投資有価証券	525	(貸) その他有価証券評価差額金	525
------------	-----	------------------	-----

3. 期末商品の評価

@2.10 千円

@2.25 千円

商品評価損なし	棚卸減耗費
a 商品	

8,800 個 9,000 個

棚卸減耗費

@2.1 千円 × (9,000 個 - 8,800 個) = 420 千円

商品評価損

なし

@1.40 千円

@1.20 千円

商品評価損	棚卸減耗費
b 商品	

6,400 個 6,500 個

棚卸減耗費

@1.40 千円 × (6,500 個 - 6,400 個) = 140 千円

商品評価損

(@1.40 千円 - @1.20 千円) × 6,400 個 = 1,280 千円

帳簿棚卸商品

a 商品 2.10 千円 × 9,000 個 = 18,900 千円

b 商品 1.40 千円 × 6,500 個 = 9,100 千円

} 28,000 千円

棚卸減耗費…420 千円 + 140 千円 = 560 千円

商品評価損…1,280 千円

(借) 仕入	32,600	(貸) 繰越商品	32,600
繰越商品	28,000	仕入	28,000
棚卸減耗費	560	繰越商品	560
商品評価損	1,280	繰越商品	1,280

#### 4. 減価償却

建物（定額法）残存価格ゼロ

$$(80,000 \text{ 千円} - 8,000 \text{ 円}) / 40 \text{ 年} = 1,800 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	1,800	(貸) 建物減価償却累計額	1,800
-----------	-------	---------------	-------

備品のうち 3,000 千円は当期に取得したものであるから、新備品 3,000 千円、旧備品 30,000 千円

【新備品】（定率法）償却率 0.250 当期の使用は 4 ヶ月（9～12 月）

$$3,000 \text{ 千円} \times 0.250 \times (4 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 250 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	250	(貸) 備品減価償却累計額	250
-----------	-----	---------------	-----

【旧備品】（定率法）償却率 0.250

残高試算表の備品減価償却累計額は旧備品に関するものである。

$$(30,000 \text{ 千円} - 7,500 \text{ 円}) \times 0.250 = 5,625 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	5,625	(貸) 備品減価償却累計額	5,625
-----------	-------	---------------	-------

減価償却費：1,800 千円 + 250 千円 + 5,625 千円 = 7,675 千円

#### 5. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	2,000	(貸) 退職給付引当金	2,000
------------	-------	-------------	-------

※決算整理前残高 13,900 千円 当期繰入額 2,000 千円 退職一時金の支払 2,500 千円 より

貸借対照表負債の部 退職給付引当金の額：13,900 千円 + 2,000 千円 - 2,500 千円 = 13,400 千円

#### 6. 長期借入金 50,000 千円のうち 10,000 千円は、1 年以内返済長期借入金に振り替える。

(借) 長期借入金	10,000	(貸) 1年以内返済長期借入金	10,000
-----------	--------	-----------------	--------

また、借入から決算日までは 3 ヶ月経過しているので、当期の利息は

$$50,000 \text{ 千円} \times 2.0\% \times (3 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 250 \text{ 千円}$$

(借) 支払利息	250	(貸) 未払費用	250
----------	-----	----------	-----

#### 7. 支払家賃 3 ヶ月分 1,050 千円 は未経過期間に関するものなので前払家賃に振り替える。

(借) 前払家賃	1,050	(貸) 支払家賃	1,050
----------	-------	----------	-------

#### 8. 法人税の計上

〔資料 2〕 2 より、仮払法人税等が 15,300 千円あるので

(借) 法人税等	24,094	(貸) 未払法人税等	8,794
		仮払法人税等	15,300